

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード 722

施策 文化財の保存と活用

管理事業 文化財保護事業

1 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業	文化財保護課	平成17年10月から一般公開を行い、歴史的・文化的遺構の保存と文化財としての価値や味わいを生かして、地域文化の新たな文化創造の礎となる場としての保存活用を行う。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 20,852	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 建造物を保存し、公開、活用する場として提供することで、多くの人に文化財を学ぶ機会を与え、その保存啓発を促している。こうした歴史的価値を有する建物は、現状を維持しながら、調査や活用を進め後世に伝えていくことが重要であり、それによって、世代を超えた文化財の継承と地域文化の創造に基づいたまちづくりにつながっていくと思われる。 現在、建物の老朽化が進み、耐震性にも問題があるため、文化財の価値を損なわないよう、耐震工事を伴う根本修理を必要とする。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業	文化財保護課	旧中西家住宅の保存・公開、調査・研究を行い、地域文化の新たな文化創造の礎となる場として保存活用を図り、迎賓館としても使用する。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 28,202	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 文化財としての保存・公開を目的に市が寄附を受けたものであり、寄贈者の意向並びに文化財保護の趣旨に基づき運営を図っていく必要がある。 また、建造物を保存し、公開、活用する場として提供することで、多くの人に文化財を学ぶ機会を与え、その保存啓発を促しているが、こうした歴史的価値を有する建物は、現状を維持しながら、調査や活用を進め、後世に伝えていくことが重要であり、それによって、世代を超えた文化財の継承と地域文化の創造に基づいたまちづくりにつながっていくと思われる。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 吹田学事始め事業	文化財保護課	地域の身近にある文化財を調査し、その成果をまとめた冊子を作成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 0	評価の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 今後も地域の身近にある文化財を調査し、その成果をまとめた冊子を作成することによって、吹田市内にある貴重な文化財等への理解を深め、文化財保護への理解を高めていく必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 文化財公開・啓発事業	文化財保護課	文化財について正しく理解してもらうために、文化財調査報告書の作成や説明板の設置とともに、教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、文化財活用・保護等の啓発を図り、文化財行政の理解を得る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 2,080	評価の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 これまでのように文化財の説明板の設置、史跡等文化財の適正な管理を行うことにより、市民の文化財への関心が増し、文化財を通して地域への愛着や地域文化を育むことが期待でき、文化財保護の意識を高める上で大きな意味を持つ。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 文化財調査事業	文化財保護課	埋蔵文化財の発掘調査、報告書作成のための内業整理。有形文化財等市内に所在する文化財の現況や実態調査等に学術的な評価や価値を把握し、あわせて活用等の検討を行う。	事業全体が法定事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 10,303	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 埋蔵文化財の調査は大半が民間の開発に伴う緊急調査であり、他の各種文化財についても開発等によって失われてしまうことを避けるために、保護に向けて積極的に進めていかなければならないが、専門知識・技術を有する職員の不足により速やかな対応が難しくなっている。また、文化財調査は所有者等の協力が不可欠であるが、文化財保護について啓発を進めることによって、文化財に対する理解を高めていく必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 文化財保存・活用事業	文化財保護課	文化財調査に基づき、市内の貴重な文化財を保護するため、吹田市文化財保護審議会に諮問し、指定等を行う。また、文化財の保存と活用を図るため、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出する。	事業全体が法定事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 3,593	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 文化財の指定や登録を進めることにより市民の文化財に対する理解を高め、これらの文化財への補助金交付を通じて、所有者等の保護活動や保存会等の団体による伝統行事の保存・育成活動を支援していく必要がある。	今後の方向性 継続

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課